



第1回ガントリークレーンの標準化等検討会 議事概要

日 時:平成 26 年 12 月 8 日(月)13:30～16:00

場 所:東海大学校友会館 35F「三保の間」

1. 議事次第

- 1) 趣旨説明
- 2) 検討会スケジュール
- 3) ガントリークレーンの仕様の現状把握と標準化に向けた検討方針
- 4) ガントリークレーンの高機能化に向けた検討方針

2. 議事の概要

- 1) 趣旨説明について
- 2) 検討会スケジュールについて

事務局から検討会の趣旨とスケジュールを説明し、委員の了承を得た。

3) ガントリークレーンの仕様の現状把握と標準化に向けた検討方針について

全国のガントリークレーンの仕様(巻上装置、走行装置、固定・係留装置、スプレッダ、主要寸法)に関するアンケート結果を事務局から報告し、標準化に向けた検討方針について審議を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 仕様の標準化と最適化(能力及び費用等)は両立しない場合もあり、技術開発の阻害にならないよう注意が必要である。単一の仕様に標準化するのではなく、各港湾の規模等を考慮して、複数の標準シリーズを検討することも考えてはどうか。
- ・ 本検討会の検討結果が国際標準化を検討する際の基礎資料となることを期待する。
- ・ 荷役機械を設置する岸壁側の性能により、荷役機械の仕様も影響があるので、岸壁側の標準化も検討する必要がある。
- ・ 故障が発生する確率が高い部品は、各ターミナルにおいて予備品を用意しているため、故障したとしても長期間稼働できない状態となる可能性は低い。予備品を用意していないような部品は、調達に長期間を要するので、共通化できると効果的である。

4) ガントリークレーンの高機能化に向けた検討方針について

国内外における遠隔操作化等の高機能化の事例調査の結果を事務局から報告し、ガントリークレーンの高機能化に向けた検討方針について審議を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 今後、高齢化が進み熟練労働者が不足することを考慮すると、遠隔操作化により、労働環境を改善することは必要である。
- ・ 遠隔操作化ではコンテナのソフトランディングができるかが課題である。ソフトランディングができるようになれば、荷下ろし時の振動等の影響が軽減され、ガントリークレーンの維持管理費用の低減にもつながる。
- ・ 遠隔操作化では、どこから遠隔操作を実施するかが重要な検討項目である。
- ・ 振れ止めの精度、時間が技術的課題と考えられる。